

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

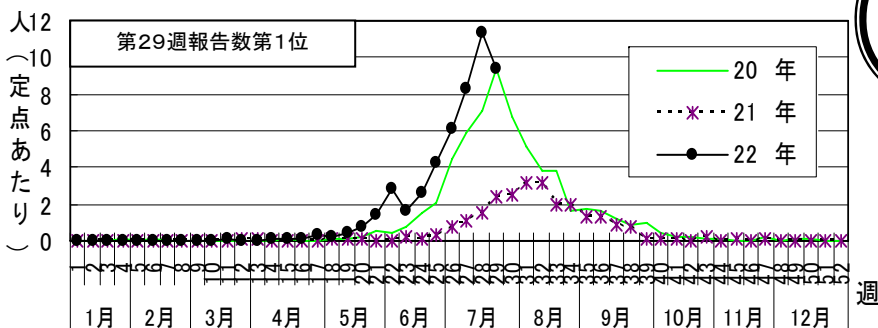


KAWASAKI CITY

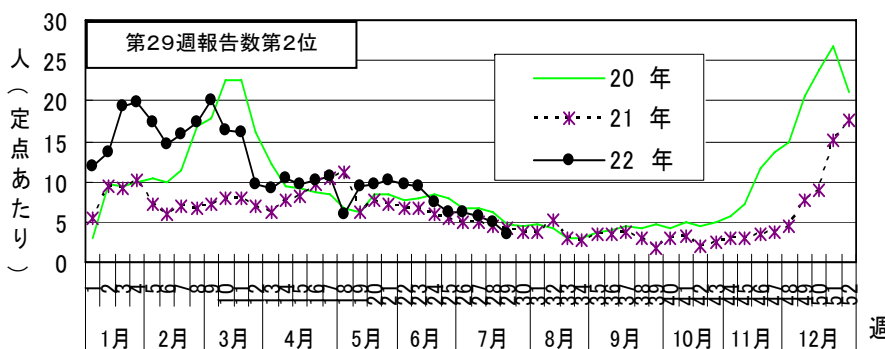
平成22年7月19日（月）～7月25日（日）〔平成22年第29週〕の感染症発生状況

第29週で報告数の多かった疾病は、1)ヘルパンギーナ 2)感染性胃腸炎 3)手足口病でした。
 ヘルパンギーナは定点あたり9.39人と前週（11.39人）に比較して患者数は減少しておりますが、区別では中原区で、定点あたり18.20人と前週（11.00人）と比較して大幅に患者数が増加しています。
 手足口病については、4週連続で患者数が増加しておりましたが、定点あたり2.64人と前週（3.73人）に比較して減少しております。
 腸管出血性大腸菌感染症の届出が1件（感染経路：不明、感染地域：不明）ありました。

ヘルパンギーナ発生状況（3年間）



感染性胃腸炎発生状況（3年間）



☆いよいよ夏休み！！でも感染症には気をつけて☆
 ～蚊に刺されて感染する病気 ②マラリア・ウエストナイル熱～



これから夏本番！海外旅行を計画されている方も多いと思います。
 海外は言葉や食文化が異なると同時に、かかってしまう可能性のある感染症の種類も日本と異なります。今週は、第27週の「デング熱」と同じように、蚊に刺されて感染する「マラリアとウエストナイル熱」を取り上げました。渡航される地域の生活環境を見極めて、楽しい旅行となるように、感染症予防対策に努めましょう。

平成22年は、7月18日までに、日本では患者は確認されていません。

平成22年は、7月18日までに、日本では33名患者が確認されています。

～マラリア～

毎年世界中で約2億5千万人の患者が発生し、80万人以上の死者がでていると報告され、日本では、海外で感染して帰国される方が、毎年数十人報告されています。
 ●感染地域：アジア、中南米、アフリカなど
 ●潜伏期間：10～30日間
 ●症状：高熱・悪寒・頭痛・筋肉痛・おう吐など
 ●媒介蚊：マラリア原虫を保有した蚊（ハマダラカ）に吸血された際に感染します。ハマダラカは、夕方から夜間に出没する傾向があります。

～ウエストナイル熱～

ウエストナイルウイルスが原因の熱性感染症です。このウイルスは、鳥と蚊の間で維持されています。北米地域だけで例年数千人の感染者が報告されています。
 ●感染地域：アフリカ、欧州南部、中東アジア、近年では北米地域、中南米にも拡大している
 ●潜伏期間：2～14日間
 ●症状：発熱・頭痛・倦怠感・筋肉痛・吐き気・時に体幹部の発疹など
 ●媒介蚊：ウイルスを保有した、主にイエカ類に吸血された際に感染します。媒介する蚊は多種類に及びます。



感染予防対策の徹底を！！

上記のいずれの感染症も、決定的な予防対策は「蚊に刺されないこと」です。屋内及び屋外でも、長袖・長ズボンを着用し、素足でのサンダル履きは避けましょう。また、虫除け剤を使用し、蚊に刺されないように注意しましょう。